

平成 28 年度事業計画書

公益財団法人服部植物研究所

I. 公益目的事業

1. 研究事業

1 - 1

蘚苔・地衣類の研究

1) 蘚類の分類・分布について研究する。

(1) 日本における分布上興味深い種が集中して生育する地域（福岡県香春岳・英彦山、栃木県奥日光周辺、長野県八ヶ岳）の研究を継続する。

(2) 形態分類による *Fissidens*（ホウオウゴケ属）の亜属・節の分類について、分子系統解析による検証の研究を継続する。

2) 苔類の分類・分布について研究する。

(1) 南米産 *Dichotomae* 節の研究を継続する。

(2) *Radula Javanjca* Gottche の研究成果を発表する。

(3) *Calypogenia neesia* 群の研究成果を発表する。

3) 地衣類の分類・形態、化学成分、生態、分布について研究する。

(1) 「原色日本地衣植物図鑑」（吉村 1974）を主に属ごとに改訂する「日本地衣類誌」の編纂を進める。本年度は、ムカデゴケ科を更に進め、イワノリ科とハナビラゴケ科に着手する。

(2) 主に日本産の地衣類を材料とし、化学分類ならびに化学分類学的手法に関して、共同研究を行う。本年度は、ウメノキゴケ科を材料として、薄層クロマトグラフィー（TLC）による同定法の改善を図る。

(3) 中国雲南省の地衣類の分類・多様性解明について共同研究を行う。本年度は、アナイボゴケ科、スミイボゴケ属、ウメノキゴケ科を予定している。

(4) その他、日本および周辺地域の地衣類に関する分類、多様性、分布を研究する。

(5) 様々の分類群の地衣類について、分子系統学的な研究を共同研究として行う。

4) 日本の分布上興味深い種が集中する地域の蘚苔植物について研究する。

日本には特殊な岩や成分を好み、分布上興味深い植物が集中して生育する地域が何か所か知られている。しかし、蘚苔植物については、これまで十分に調査・研究が進んでいない。本年度は主に栃木県奥日光の蘚類について調査・研究を行う。

1 - 2

蘚苔・地衣類のデータベース作成

1) 新日本産蘚類カタログ（2004 年出版）の改定作業を行い、*Hattoria* No.7 で報告する。

2) Yamada, K&Z. Iwatsuki(2006). Catalog of the Hepatics of Japan. *J.Hattori Bot.Lab.*99:1-106.

の改定を行う。

- 3) 日本産地衣類のチェックリスト（2004 発行）の補遺の作成を引き続き進める。
- 4) 日本の地衣学に関する文献の目録の補遺の作成を行う。

1 - 3

資料の収集・整理、及び普及活動

- 1) 現地調査及び交換により、内外の蘚苔・地衣類の資料を収集する。
- 2) 蘚苔・地衣類関係の資料（標本、図書、別刷り、など）の整理を続ける。
 - (1) 本年度収集された標本の仕分けを行う。
 - (2) 本年度までに返却・寄贈された未仕分け標本の仕分けを行う。
 - (3) 収納済み標本の仕分け見直しを行う。
 - (4) 外国産蘚類標本棚の整理・まとめ及び標本移動を行う。（アジア他）
 - (5) 日本産蘚類標本棚の整理・まとめ及び標本移動を行う。
 - (6) 研究論文原稿蔵書の整理を行う。
 - (7) 地衣類標本の整理、収集を行う。
 - ①服部植物研究所が所蔵する地衣類標本の内、未同定標本の同定と整理を行う。
 - ②高知分室管理の標本を同定・整理し、逐次、十文字資料館に移動する。
 - (8) 岡崎分室から移動した標本及び資料の整理を行う。
- 3) 内外の研究者の要請に応じ、標本の貸し出し、文献の複写などのサービスを行う。
- 4) 内外の研究者及同好者の要請に応じ、蘚苔・地衣類資料の学名同定を行う。
- 5) 自然保護、及び蘚苔・地衣類学に関する情報を広く一般に知ってもらうため、自然観察会、講演会その他の普及活動を行う。
- 6) 蘚苔・地衣類学と故服部博士と服部植物研究所に関する情報を広く一般に知ってもらうために常設展示場を設け、所蔵資料や研究成果等の展示を行う。
- 7) ホームページの更なる充実を図り、研究者はもちろん、一般の方に向けても情報を発信する。
- 8) 展示場においてコケに関する書籍、物品の販売を行う。
- 9) 服部植物研究所解説 70 周年記念事業を行う。
- 10) 若手研究者が当研究所で研究を行うための旅費等の補助をおこなう。

1 - 4

研究成果の出版と販売

- 1) Hattoria No. 7 を出版、販売する。また、J-STAGE 搭載を行う。
- 2) 論文別刷りの販売を行う。
- 3) Hattoria バックナンバーの J-STAGE 搭載を行う。
- 4) 「HPLC による日本産地衣類の成分」を出版する。

日本産地衣類の成分については過去の研究成果を生かし、高速液体クロマトグラフィーによるクロマト像及び、フォト・ダイオードアレイによる UV スペクトルにより、検出ピークの

全てを企画・同定したデータをまとめた。これにより、日本産地衣類のほとんど全種類である513種の成分を分析した。この成果を単行本として公表する。

5) 服部植物研究所報告の電子ジャーナル化を継続して行う。

II. その他の事業

本年度収益事業として下記の事業を実施する。

1. 土地の賃貸による収益事業

- 1) 基本財産である宮崎県延岡市川島町の宅地を賃貸
- 2) 基本財産である宮崎県日南市飫肥6丁目の宅地を駐車場として賃貸
- 3) 十文字の所有地にて収益事業を行う。

2. 山林事業

- 1) 必要な保育事業を行う。

III. 財団運営

1. 理事会の開催

(開催日程の予定)

平成28年5月、平成29年3月に予定。その他必要な議決事項が出た際に随時開催する。

(議事内容)

- 1) 平成27年度事業報告及び収支決算書の承認 (5月)
- 2) 平成29年度事業計画及び収支予算案の承認 (3月)
- 3) その他、法令又は定款で議決を必要とする事項

2. 評議員会の開催

(開催日程の予定)

平成28年5月、平成28年3月に予定。その他必要な議決事項が出た際に随時開催する。

(議事内容)

- 1) 平成27年度事業報告及び収支決算書の承認 (5月)
- 2) 平成29年度事業計画及び収支予算案の承認 (3月)
- 3) その他、法令又は定款で議決を必要とする事項